



▲3番員と4番員がポンプ車右側後方にある水利めがけて吸管を伸ばす



▲会場には27台のポンプ車が集まる▼指揮者の号令で規律を守りながら行進する小隊訓練



## 第41回羽咋郡市消防団連合会 連合訓練大会 ～志賀町消防団が練磨した訓練技術を発揮～

訓練の成果である迅速、正確な動きを披露し、上位入賞を果たした。

総合の部、ポンプ車操法の部ともに、優勝が富来分団、準優勝が東増穂分団、3位に西海分団が入賞し、「志賀町消防団、ここにあり」という心意気を見せつけた。富来分団と東増穂分団は、7月28日に石川県消防学校で行われる石川県消防操法大会に出場する。

大会での成績はもとより、志賀町消防団が地域を守るために日夜励んでいる訓練の成果は、志賀町の消防力の強化につながっている。

日頃の訓練による成果を競うため、6月16日(土)に羽咋郡市の27分団643人が、西山台の志賀町防災公園に集まり、点検訓練種目である服務規律、機械器具、ポンプ車操法、小隊訓練の技術を競い合った。

この日のために、各分団は約1カ月間、早朝や夜間の練習に励み、総合優勝を目指して頑張ってきた。

大会は毎年、志賀町消防団が上位を独占してきた。今大会でも



▲機敏な動きを見せる4番員



▲第1線延長で火点に向けてホースを伸ばす1番員



①火点を標的に構える操法員②第2線延長に向かう2番員と3番員③3番員の伸ばしたホースと2番員の伸ばしたホースを結合する④筒先をもって構える1番員⑤2つの火点を標的にホースを伸ばす⑥優勝旗のまといが手渡された表彰式

**総合の部**

- ① 富来分団 ② 東増穂分団 ③ 西海分団
- ポンプ車操法の部
- ① 富来分団 ② 東増穂分団 ③ 西海分団

**敢闘賞**

- 稗造分団・羽咋市消防団第3分団・宝達志水町消防団第3分団

**○石川県知事表彰**

**銀杯を授与する表彰(20年以上)**

- ▽岡島 靖(加茂・分団長) ▽豊島弘真(熊野・部長) ▽畑 竜一(稗造・分団長) ▽飯田一也(東増穂・班長) ▽素都拓午(福浦・団員)

**永年勤続団員の配偶者等に対する感謝状**

- 島田すみ子(志賀町消防団団長 島田好明の妻)

**○石川県消防協会会長表彰**

**優良消防団(分団)表彰**

- ▽加茂分団▽西増穂分団

**功労賞表彰**

- ▽奥下建一(志賀町消防団本部・副団長) ▽谷内正伸(上熊野・分団長) ▽庄藤 浩(志加浦・分団長)

**功績章表彰**

- ▽柿本秀洋(西海・分団長) ▽館内敏人(下甘田・分団長) ▽畑 竜一(稗造・分団長) ▽大家英明(福浦・分団長)

**勤続功労章表彰(10年以上)**

- ▽松本大樹(上熊野・団員) ▽岡島和彦(加茂・団員) ▽白山秀和(加茂・

- 団員) ▽干場政伸(熊野・班長) ▽新谷博孝(西海・班長) ▽有山啓太(西海・団員) ▽濱浦睦宏(西海・団員) ▽橋野裕人(西浦・班長) ▽室津 司(西増穂・団員) ▽欽 成志(西増穂・団員) ▽菅浦晃宏(稗造・団員)

- ▽菅浦晃宏(稗造・団員)

- ▽菅浦晃宏(稗造・団員)

- ▽菅浦晃宏(稗造・団員)

**○羽咋郡市消防団連合会長表彰**

**優良消防団(分団)表彰**

- 稗造分団

**永年勤続功労章表彰(10年以上)**

- ▽松本大樹(上熊野・団員) ▽岡島和彦(加茂・団員) ▽白山秀和(加茂・団員) ▽干場政伸(熊野・班長) ▽新谷博孝(西海・班長) ▽有山啓太(西海・団員) ▽濱浦睦宏(西海・団員) ▽橋野裕人(西浦・班長) ▽室津 司(西増穂・団員) ▽欽 成志(西増穂・団員) ▽菅浦晃宏(稗造・団員)

- ▽菅浦晃宏(稗造・団員)

- ▽菅浦晃宏(稗造・団員)

- ▽菅浦晃宏(稗造・団員)

**優良団員表彰**

- ▽上田 勝(上熊野・団員) ▽澤田哲也(加茂・団員) ▽佃 政之(西海・団員) ▽蟹屋敷賢志(富来・団員) ▽松田睦夫(富来・団員) ▽山添忠司(富来・団員) ▽山口博史(中甘田・部長) ▽藤森幸雄(稗造・団員) ▽松田大一(稗造・団員) ▽坂上大輔(東増穂・団員) ▽浦 和也(福浦・班長) ▽國部光輝(堀松・団員)

# ～人権啓発講演会～

## 演題 『風評被害と人権問題を考える』

震災による風評被害・・・

震災にあった人が避難先で差別を受けたら・・・

支えあう心、相手を思いやる心。一人一人が人権の意義やその重要性について理解を深め、人権が尊重される社会を築くことを目的として、「人権啓発講演会」を開催します。

講師

かにせ せいいち  
**蟹瀬 誠一氏**

(国際ジャーナリスト・キャスター)

入場  
無料

日時

**7月30日** 月 13時30分  
～15時

場所

志賀町文化ホール 大ホール



### 講師プロフィール

#### ■経歴

- 1950年 石川県津幡町生まれ
- 1974年 上智大学文学部新聞学科卒業  
国際ジャーナリスト・キャスター
- 2004年 明治大学文学部教授
- 2008年 明治大学国際日本学部長に就任

#### ■職歴

フランス AFP 通信社記者、『TIME』誌東京特派員を経て、日本のテレビ報道界に転身。テレビ朝日『スーパーJチャンネル』『スーパーモーニング』など数々のニュース番組のキャスターとして活躍するほか、カンボジアに小学校を建設するボランティア活動や環境 NPO 理事も務める。

#### ■著書

『「1日15分」が一生を変える!』(三笠書房)  
『もっと早く受けてみたかった「国際政治の授業」』(PHP研究所) など多数

お問い合わせ先：志賀町住民課 ☎ 32-9121

「ごんいちほ

地域包括支援センターです」

高齢者への虐待に

早く気づきましょう!

高齢者への虐待は、高齢者の認知症、介護者の介護疲れや生活上の問題など、さまざま必要な組み合わせで起こります。

平成18年に「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」(高齢者虐待防止法)が施行されました。これに基づき、地域包括支援センターでは虐待の早期発見・把握に努めて対応します。

次のような行為は虐待にあたります。

- ◆ 身体的虐待・・・殴る・蹴るなど暴力行為
- ◆ 心理的虐待・・・怒鳴る・子ども扱いです
- ◆ 経済的虐待・・・必要なお金を渡さない・使わせない
- ◆ 性的虐待・・・性的行為を強要
- ◆ 介護・世話の放棄放任(ネグレクト)  
・・・脱水症状・栄養失調の状態にあるなど

高齢者虐待は誰もが直面する恐れのある問題です。みんなが自分自身の問題として虐待が起こらないよう、地域全体で支え合うことが大切です。普段の声かけの中で、あれ??と思うようなことがあったり、顔や体にあざがあるなどの異変に気づいたら、地域包括支援センターへ連絡してください。通報した人の情報など秘密は守ります。

【お問い合わせ先】健康福祉課 ☎ 32-9132

わく・ワーク体験

志賀町教育委員会教育長 六田 實

志賀町では、今年も中学2年生を対象に、町内の企業、商店、事業所などに協力をお願いし、生徒たちに実際の職業のいっぴんに触れる「わく・ワーク体験」を実施します。

教育基本法には、教育の目標として、「職業および生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと」と明記されています。

「学ぶ」目的として、平和で民主的な国家を形成する社会人、職業人の育成を目指すことがあり、また、義務教育の中でも、「職業についての基礎的な知識と技能、勤労を重んずる態度、個性に応じて将来の進路を選択する能力を養う」とこととされています。

これは、以前にも本稿でふれた「キャリア教育」の推進を意図したもので、志賀町の教育目標である「自主」「自立」「共生」の具現化にも通ずるものと考えています。

先日、志賀高校で3年生87人の皆さんの前で、キャリア形成の重要性について、お話をする機会をいただ

きました。

50分と限られた時間ではありましたが、熱心に耳を傾けていただきました。

自分のこれまでの経験(キャリア)が、進路選択の最前線にある3年生の皆さんの、就職や進学での進路選択の参考になれば幸いです。

町内の小・中学生、志賀高校生の皆さんには、キャリア形成を意識し、立派な社会人を目指して努力して頂きたいと思います。

青少年海外派遣について

今年も「志賀町青少年海外派遣事業」の実施にあたり、準備を進めています。

今年度は中学生と高校生を含め、12人を募集したところ、女子21人、男子2人の計23人の応募があり、実行委員会で選考していただきました。

今回、残念ながら選にもれた生徒の皆さんには、高校卒業までの間にぜひ再チャレンジをお願いしたいと思います。

6月2日(土)には本人と保護者も参加して、第1回の説明会・事前研修会が行われ、今後、4回、計5回の事前研修が予定されています。グローバル化のうねりの中、世界を意識し、力強く生き、活躍する若者を育てたいと思います。

教育長ホットニュース

法律相談

・弁護士(元高等検察庁検事)、愛知学院大学法科大学院特任教授  
 國田 武二郎(堀松出身)

東京地検、名古屋地検、横浜地検、岡山地検、福井地検等で捜査・公判検事として財政・経済事犯、公安・労働事犯、選挙事犯、暴力事犯、風紀・麻薬事犯、外国人犯罪、少年犯罪、交通事犯など数多くの事件を担当。仙台高等検察庁検事として若手検事の指導育成にもあたる。平成15年6月、愛知県弁護士会に弁護士登録。あすなる法律事務所という名称で法律事務所を開設し、弁護士として活動。また、愛知学院大学法科大学院特任教授として法科大学院で教鞭を担っている。平成20年から愛知・三重両県の産業保健推進センター産業保健相談員、年金記録確認愛知地方第三者委員に就任。

子の氏(うじ)の変更について

Q: 私は山田花子ですが、前の夫と離婚し、再婚することになりました。再婚するにあたり、再婚相手の「志賀」の氏を名乗ることにしました。ただ、前の夫との間に小学生の子供もがおり(親権は、私です)ます。私が、「志賀」の氏を名乗った場合、子どもの氏はどうなりますか。

A: 再婚して、山田花子から、志賀花子に「氏(うじ)」を変え、新しい夫(志賀さん)の戸籍に入っても、子の身分関係は変わらず、子どもの「氏」は「山田」のままであり、母親と共に新戸籍にそのまま入籍されません。しかし、親権者である母親と子どもの「氏」が異なる場合、子どもも周囲も、違和感を覚える場合があるので、できれば、親子とも「志賀」の名前を名乗った方が良いかもしれません。その方法の一つは、家庭裁判所に子の氏の変更許可の申立をすることです(民法791条1項)。設問では、お子さんが小学生で15歳未満なので、花子さんが代理人として申し立てることになります。申立を受けた裁判所は、「山田」から「志賀」

への氏の変更が、子の福祉に適切であるという判断を示せば許可し、「許可審判書」を交付します。その審判書を入籍届けに添えて、町役場に提出すれば、新戸籍に子どもも入籍することができます。なお、親権者が花子さんではなく、前の夫である山田さんの場合は、山田さんの協力が必要となります。もう一つの方法は、再婚相手の志賀さんと子どもとの間で養子縁組をする方法です。町役場に備え付けてある養子縁組届出書に必要事項を記入し、提出すれば済みます。なお、未成年者の養子縁組は家庭裁判所の許可が原則必要ですが、志賀さんが妻である花子さんの子どもを養子とする場合には不要です(民法789条)。

前者の方法をとった場合、志賀さんと子どもとの間には親子関係は発生しません。したがって、子どもは、山田さんの相続人になれても、志賀さんの相続人にはなりません。しかし、後者の方法をとった場合、養子縁組を介して、志賀さんと親子関係ができるので、相続人になれます。いずれの方法を選択するかについては、親権者である花子さんが熟慮の上、決められると良いでしょう。

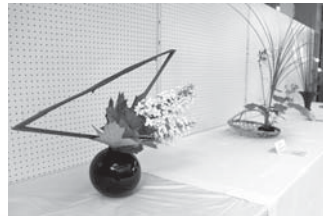
# 第10回 初夏の文化祭

が開催されました。

6月23日(土)24日(日)の両日にわたり町文化協会主催による「第10回 初夏の文化祭」が富来活性化センターで行われました。

展示は23日、24日の2日間、富来活性化センター内の各部屋などで郷土史、山野草、菊花、陶芸、川柳、短歌、読書感想、俳句、手芸、写真、書道、絵画、生花、星の会、水墨画の展示が行われ、お茶会では抹茶、煎茶が振る舞われました。

24日は活性化センターの町民大ホールで芸能アトラクションが行われ、民謡、踊り、曳山木遣唄、大正琴、太鼓、よさこいの順で日頃の成果を発表し、観客の皆さんから暖かい拍手が送られました。



## 放送大学10月生を募集

放送大学では平成24年度第2学期(10月入学)の学生を募集します。

放送大学は、テレビ・ラジオの放送やインターネットを通して学ぶ通信制の大学です。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

資料は無料で差し上げます。

### ● 出願期間

平成24年6月15日～8月31日

### ● 入学説明会(石川学習センター)

7月21日(土)・22日(日)

8月18日(土)・19日(日)

25日(土)・26日(日)

10時30分～

看護学士(9時30分～)と、認定心理士(11時～)の説明会は、8月11日(土)・12日(日)の両日いずれも石川学習センターで開催されます。

お申し込み・お問い合わせ先

放送大学石川学習センター

(野々市市扇が丘7の1)

☎076-246-4029

## 文芸教室

### 富来俳壇

和服には和服の良さや初夏の風  
雉子<sup>きし</sup>一声それより後は山の風  
余生とは反省多し新茶汲む  
一茶の蔵<sup>くら</sup>粗<sup>あら</sup>壁<sup>かべ</sup>見<sup>み</sup>あぐ瘦<sup>や</sup>せ蛙  
あかしあの並木なつかし少年期  
リュック背に深山の匂う桐の花  
卯<sup>う</sup>の花や道路の脇を飾りおり  
老いてなお女の性<sup>こころもがえ</sup>や更衣  
風そよぎ白ぼたん散る遍行寺  
田植機の座にあり瞳一直線  
百株や間口五間にさつき映ゆ  
アカシアの花明り下校の声透る

富地 重内  
須戸ひろし  
須戸とみ子  
下野 久雄  
大乗 大城  
浅野 照子  
新澤 和子  
長根尾郁恵  
藤澤 鶴女  
小島 史子  
川田まさこ  
森下いわお

### 投稿 短歌、俳句、川柳

遠来の客に竹の子汁の膳  
年だから無理しないでと田植機に植え行く  
吾子の背に声かける  
母の日に言葉を添えた贈りもの  
五月晴れ大空泳ぐ鯉のぼり  
朝うみの向こうに横たう宝達山  
六三四のツリーに三米ほど高き  
道ばたの赤いマンテマそよ風に  
ひと枝つみて部屋にかざりぬ

山守 宏子  
みさの  
浅子  
美智代  
松本理希三  
志津江

貝がら川柳社

再稼働ねらい節電あおりたて  
 節電の緑のカーテン窓被う  
 節電にゴーヤを植えて夏むかえ  
 節電で見たテレビも遠慮がち  
 朝顔の花で節電早く植え  
 節電でしみじみ判る無駄遣い  
 バス旅行園児の瞳と老いた今  
 バス旅行疲れ癒して宿の湯気  
 地域バスゆっくりゆらり昼寝時  
 過疎の町唯一の灯り路線バス  
 おらが町なないろバスで皆笑顔  
 激安のバスもユツケも底が割れ

山本 静香  
 村中 光彦  
 坂下二三子  
 須曾 正子  
 関口トミコ  
 遠藤美朝子  
 西尾 善春  
 前田 静枝  
 吉村とし子  
 木村 貞涼  
 橋田明日香  
 小松 彰一

はまなす俳句会

山寺の仏も聴くや時鳥  
 薫風に座りて松を描く人  
 賑やかに雀群がる麦の秋  
 雨脚に艶めく紫紺杜若  
 葉隠れの一つに触れて梅青し  
 薫風を入れて忌日の僧迎ふ  
 薫風や遊覧船で渡る宿  
 簀戸入れて一人点前を楽しめり  
 欄干にもたれて浴ぶる青葉風  
 アカシアの花透く日暮茜空  
 海からの風を放さぬ鳴子百合

坂下 草風  
 坂下 豊子  
 土田エミ子  
 土田 清枝  
 土田まつい  
 鍋岡美智子  
 藤田 君枝  
 淵端 三之  
 細川ふじ子  
 吉田 外江  
 北谷 芳子

西浦川柳会

梅雨が来て作らぬ草も生き生きと

川上 富子

出荷やめ野菜作りの我が余生

小松 康子

土作りトマトキュウリに愛を込め

西尾 海春

無精者本を片手に作る味

田畑 幸子

光る枝汗や涙の物作り

高島 和子

ベランダで作る野菜はミニサイズ

みやみちさかし

ほめ言葉もらって作る千支の額

窪 洋

ゆううつを飛ばす貴方の笑い声

池田 洋子

憂うつな梅雨も真夏の水助け

三井かほ里

野菜等作る生きがい老いの今

芝山 照子

孫帰宅憂うつ病何処へやら

岩井マサ子

歯の痛み憂うつさ増すあのおとも

林 ちよ子

志賀歌会

しらじらと明けゆく村の早苗田に  
 一群の墓影を写せり

坂井外志子

久しぶり友と語らうひとときは  
 乙女のように笑い転げて

山瑞千代子

京ちゃんが来る日はアイス、チョコレート  
 好物そろえて時計を見てる

泉 広栄

越前の若葉に映える大茶会  
 一期一会の心は一つ

崎田ゆたか

口癖が「百まで生きたらどうしよう」  
 八年残して姑は逝きたり

芳野 法子

老いて今幸せと応う媪いて  
 在りし日の母背見せ願つ

福島 信子

一面の延齡草の群生を  
 前に赤き帽子のお地藏

岩上 久枝

「門」土筆の会

この辺りよい香がすると立ち止まり  
 振り返りては白藤見上ぐ  
 玉葱は地の上に日毎ふとりゆく  
 穀雨むかへて白き際立つ  
 毎晩を楽しく集いたいおり  
 声に目覚めて友等散りゆき  
 茄子トマト胡瓜ジャガイモさつまいも  
 ネギと獅子唐植え春終る  
 空中にさまよう色が重なりて  
 やがて迎える黒の終末  
 牡丹寺訪ねて行けば満開に  
 現世のお浄土思ひ見渡す  
 四十年近く家屋を守りくれし  
 瓦に感謝の清酒注ぎぬ  
 「あ」といえば「ん」と腰を伸ばしつ  
 立ちあがる妻に「うん、水をくれ」

向永いみ子  
 安中加奈子  
 東 操  
 石田 豊  
 鹿乃 夏子  
 吉崎てい子  
 花野 美咲  
 吉本 與彦

県都まで続くアカシア花ざかり  
 不器用な女思案の胡瓜棚  
 徘徊の足音秘めたる百足虫かな  
 新緑や濃淡の山近くせり  
 新緑に生きる力を貰ひけり  
 椎若葉止まりのままの古時計

白鳥 美代子  
 満 紀美恵  
 綾子  
 玲子

「文芸教室」に掲載する作品を募集していま  
 す。短歌、俳句、川柳については一首(一句)  
 として送付ください。紙面の都合上、掲載で  
 きない場合もありますのでご了承ください。

■宛先 / 〒100-0008 志賀町末吉千古1番地1  
 志賀町教育委員会 生涯学習課まで  
 ※毎月7日までにお送りください。

お詫びと訂正

「広報しか」6月号の「生涯学習だより」で文芸欄の団体名の志賀歌会の紹介で誤りがありました。団体名の紹介を貝がら川柳社と誤って掲載しましたことについて、お詫びと訂正をいたします。